

ジョン・マエダ

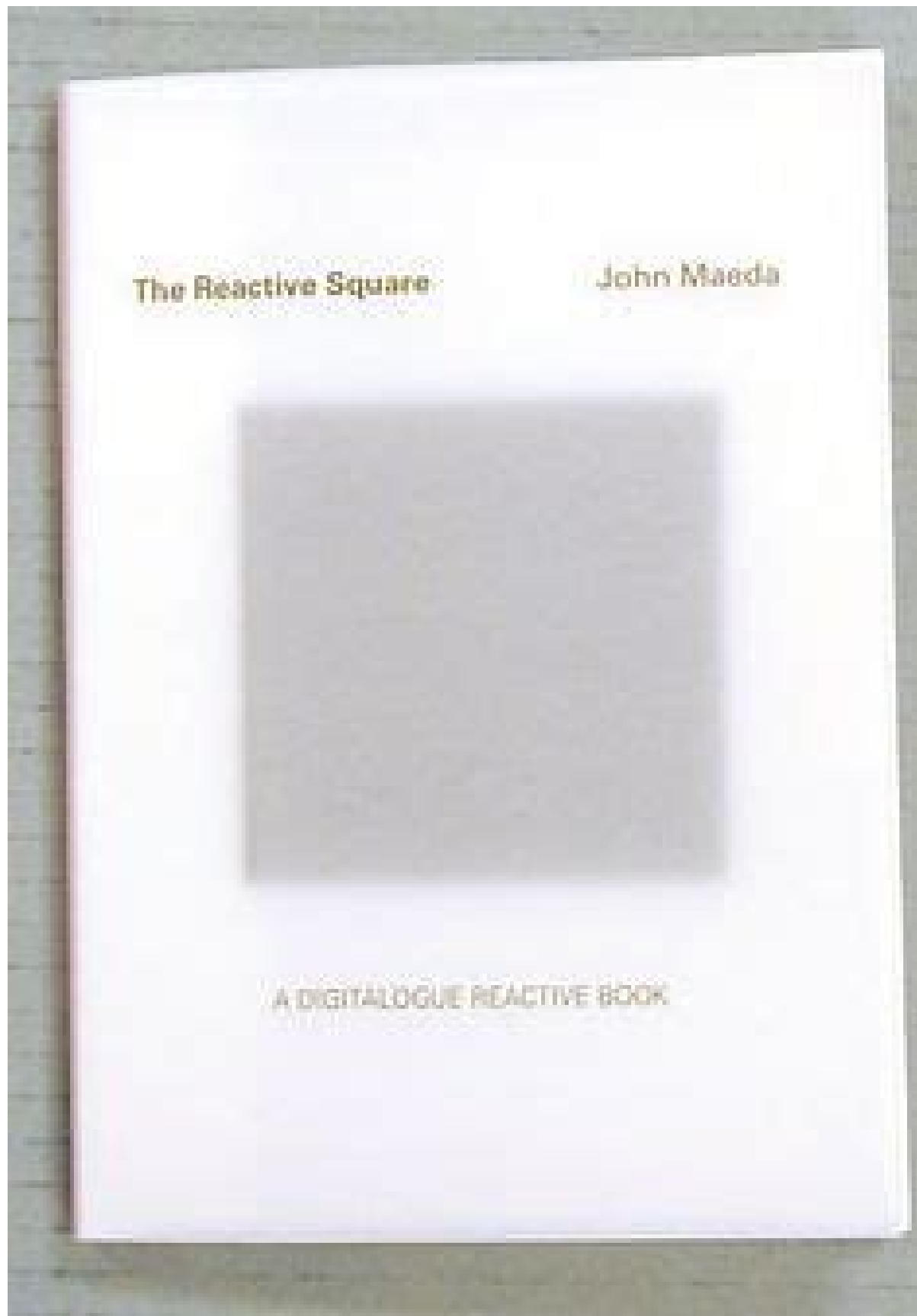
2211113 福島葵



ジョン・マエダ

- 出身地：アメリカ・シアトル（日本系アメリカ人）
- 生年：1966年
- 職業：デザイナー、コンピュータ科学者、教育者、起業アドバイザー

MIT（マサチューセッツ工科大学）でコンピュータ科学を学ぶ
その後、アートとデザインを深く学ぶため、日本の筑波大学で美術を研究
MITメディアラボで教授を務め、デジタルメディアとインタラクションデ
ザインの分野で活躍



Reactive Books シリーズ (1990年代)

ジョン・マエダが開発したインタラクティブな電子書籍。

テキストや画像がユーザーの操作に応じて動き、読書体験そのものがアート作品となる。プログラムでデザインを生成するという新しい表現方法を示した。

Nature (1994)

アルゴリズムを用いて自然界の動きをシミュレーションした作品。

コンピュータによる視覚的表現の可能性を提示し、"自然とテクノロジーの融合"をテーマにしている。

Time Paint (1999)

マウスの動きに応じて色や形が変化するインタラクティブアート。

時間と行動によって生成されるビジュアルは、観る人の操作によって毎回異なる。

観客が「創造者」になるというインタラクシオン性を重視した作品。マウス操作に反応する描画アート

名言と哲学

「シンプルであることは、複雑さを理解したうえでの選択である」

- マエダが一貫して提唱する「シンプリシティ（simplicity）」の核心。
- シンプルなデザインは単に装飾を削ることではなく、本質を見極める思考力と判断力が必要であるという哲学。
-

「アートは問いを立て、デザインはその解決を図る」

- アートとデザインの違いを明快に表現した言葉。
- アートは感性や社会的な問題提起を行い、デザインはそれを具体的に解決する手段となる。